

畜産ニュース

岡山牛63頭 沖縄へ輸出

琉球政府が和牛の品種改良のため導入している繁殖用基礎和牛63頭の買付が3月25日から27日まで3日間、田港琉球農協連合会技師によって岡山県畜連あっせんで行われた。

今回の家畜市場別買付は3月25日金川16頭、26日高梁35頭、27日総社12頭、計63頭であるが、買付の条件は前回同様

①生後20ヵ月から36ヵ月までの牛で、初回妊娠したもの②種付証明書のあるもの③登録証又は血統証を有するもの④ブルセラ病、結核病のないもの⑤発育良好なものとなっている。

買付値段は和牛1頭当り最高6万5,000円、最低4万2,000円、平均5万円で、前回買付より平均1,400円高値であった。

なお船積は4月7日行われたが、今回の輸出は昨年6月の49頭、1月の115頭の輸出について第3回目である。

昭和31年度 県有畜農家創設計画成る

有畜農家創設特別措置法に基く昭和31年度県計画については、さきに地方事務所経由で提出された「町村計画」を検討集計した結果、次のとおり策定し、この程農林大臣あて導入割当枠を申請した。

これによると昭和31年度における有畜農家創設戸数は2,041戸、導入家畜頭数2,125頭となりこれに要する資金借入計画は約4,700万円が予定されている。

乳牛 集約酪農地域用	833頭
美作地域	463頭
備中西部地域（指定申請中）	370頭
乳牛一般有畜農家創設用	182頭
役肉用牛	610頭
めん羊	500頭

昭和30年度 有畜農家創設事業終る

昭和30年度の有畜農家創設事業は3月末で終わったが、家畜別、農協別導入頭数及び融資額は次のとおり。

1. 乳牛

(イ) 美作集約酪農地域用			
農協名		導入頭数	融 資 額
		頭	千円
三	保	10	350
計		280	9,650
(ロ) 一般地域用			
福	田	10	350
本	庄	10	350
落	合	10	350
	中	10	350
成	羽	10	350
中	津	10	350
日	里	30	997
大	島	10	350
西	鶴	10	334
県	山	10	350
	主	10	350
計		120	4,131

2. 役肉用牛

農協名		導入頭数	融 資 額
		頭	千円
灘	崎	10	150
日	里	10	160
下	庄	10	80
	竹	10	160
	郷	10	160
今	城	10	146
美	和	10	160
皆	部	10	160
梶	並	20	320
江	見	10	160
川	上	20	320
上	刑	20	320
高	倉	10	160
中	津	10	160
落	合	10	160
神	庭	10	160
加	美	10	160
茶	屋	10	160
庄	村	20	300
玉	川	10	160
打	穴	20	320
林	野	10	160
吉	備	10	144
可	町	20	320
馬	真	10	160
土	下	10	160
巨	居	10	160
	瀬	10	160
計		340	5,280

岡山畜産便り 1956.05

3. めん羊

農協名	導入頭数	融資額
	頭	千円
鴻瀬	20	70
大島	20	70
香南	90	300
計	160	494

畜産関係補助金交付 総額1,019万円

昭和30年度の各畜産施設の助成については、年度末までに事業を完了し、このほどそれぞれ関係者に対し補助金が交付されたがその内容は次のとおり。

牛乳集団飲用施設補助

川上郡成羽町農協 80,000円
農村食肉利用促進施設補助

川上郡成羽町 400,000円

牛乳共販施設補助

(牛乳輸送タンクカー1台、貯乳タンク、サーフェスクーラー)

津山市川崎 北部酪農協 761,000円

簡易集乳所設置補助 120,000円

真庭郡二川村、同中和村、同湯原町、津山市(2ヵ所)、西大寺市の6ヵ所

(1ヵ所当2万円)

飼料自給経営施設補助

津山市 539,880円

小団地開発整備事業補助(牧野改良) 600,000円

赤磐郡山陽町(牧道) 123,000円

御津郡津高村(同) 51,900円

久米郡久米南町(同) 75,000円

勝田郡奈義町(同) 108,000円

真庭郡久世町(同) 62,100円

阿哲郡哲西町(同) 114,600円

阿哲郡哲西町(牧柵) 65,400円

種雄鶏導入補助

岡山県養鶏連合会 200,000円

畜産会助成

岡山県畜産会 825,350円

有畜農家創設用利子補給金 6,487,210円

種牡馬飼養補助(7件) 80,000円

めん羊共同種付施設(5件) 100,000円

合計 10,193,440円

めん羊のせり市 7月1日から3ヵ所で開設

今春生れた子めん羊の「第2回せり市」が昨年同様、次の日程で3日間開設されることになった。今春の生産頭数は約1,500頭と予想され、昨年の生産頭数を約5割方上廻り、各せり市とも200頭前後の出場が予定されている。

月日 開催場所

7月1日 邑久高校尾張校舎(邑久郡邑久町)

7月2日 総社家畜市場(総社市総社町)

7月3日 笠岡市吉田小学校(笠岡市吉田町)

花尾技師帰国

2月1日神戸出航、豪州でジャージー種乳牛を買付していた県畜産課畜産係長花尾省治氏は250頭の買付を終り4月13日横浜入港の山下丸で帰国、同15日帰岡した。

ジャージー種乳牛 総計201頭導入

美作集約酪農地域へ、ジャージー種乳牛第5陣として4頭が3月24日津山市へ到着した。このたびの到着で30年度中に県内へ導入された総頭数は津山市77頭、真庭郡川上村48頭、八束村46頭、二川村15頭、中和村9頭、湯原町6頭、合計201頭である。

なお残り約100頭は4月中旬から6月にかけて貸付になる予定。

春の競馬売上成績 15万5,800円の好配当

今年第1回の県営競馬は3月21, 22, 23, 27, 28, 31日の6日間、岡山市三幡の岡山競馬場で開催されたが、度かさなる雨天のためあまり振わず6日間で1,235万800円の売上成績であった。

最終日の31日、第7レース(平地1,000m)でマップス、ヨシタカの連勝式勝馬券6-5の1枚が的中、15万5,800円の好配当がでた。

同レースの総売上げは2,111枚、これは三幡競馬場では最高である。

岡山畜産便り 1956.05

平津乳牛飼養管理共進会 桜咲く校庭で開催

第3回乳牛飼養管理共進会が平津酪農業協同組合（御津郡一宮町）主催で一宮町平津小学校々庭において4月10日午前10時から開催された。当日は曇一時雨の悪天候であったが、組合員が平素から丹精こめて飼育した乳牛32頭が桜花咲く校庭へズラリと出場、県の松尾、今本両技師をはじめ県酪農協会松田技師、岡山地方事務所諏訪技師等によって審査された。審査の結果上位入賞牛に対し、県知事賞（1等のみ）、地方事務所長賞、地区農業改良協議会長賞、県酪農協会会長賞、その他副賞多数が授与された。

なお1等入賞牛飼育者は次のとおり。

第1部ホルスタイン種

オームスビーゴリヤドンインペリアル号（29年1月16日生）丹原 岩

第2部ホルスタイン種系

オカHデコール号（29年2月28日生）久世 利夫

第3部ホルスタイン、ホルスタイン種系

（未經産）ボンズドンインペリアル号（29年12月7日生）小野 正信

加本技師豪州から帰国

県畜産課衛生係長、加本一久氏はジャージー種乳牛買付けのため、昨年12月28日横浜を銀陽丸で豪州へ出港していたが、4月3日横浜入港の銀陽丸で、ジャージー種乳牛300頭を買付けして帰国、同6日無事帰岡した。

昭和31年度 結核フルセラ検査始まる

家畜伝染病予防法の一部改正にともない乳牛を主体にブルセラ病の強制検診を従来の結核病の検査と同様、本年4月1日から毎年1回以上実施することになり、4月16日を皮切りに本年度中に約8,000頭ののぼる対象牛全部に検診を実施することになった。

今回の改正で乳牛、これと同一畜舎内にいる和牛、種牛には毎年1回以上強制検診を行い、健康牛には知事の発行するアルマイトの耳標をつけ、この耳標のないものは県外移出入は出来ないこととなった。

一方感染牛は殺処分し、飼育主に対しては最高1頭当たり10万4,000円を補償限度に時価の5分の4を国で補償する。

なお本年度中に対象牛全部の検診を終る準備を進

めているが、とりあえず乳牛の多いつぎの地区を各家畜保健所が主体となって4月16日から実施、5月下旬に終るが、その他の地区は5月中旬以降から実施の予定。

真庭郡蒜山地区＝中福田家畜保健衛生所

吉備郡総社地区＝総社 同

邑久郡西大寺地区＝長浜 同

小田郡笠岡地区＝中川 同

日本原地区＝日本原 同

畜産局薬事・競馬監督課廃止

農林省の機構改革により4月1日から畜産局薬事課、競馬監督課が廃止された。薬事課は去る25年衛生課より分離新設され、競馬監督課は一昨年中央競馬会の設立にともない競馬部の廃止によって設置されたものであるが、両課廃止後は薬事関係は衛生課に吸収され、競馬関係は畜政課所管となった。

家畜保健衛生所長会議開催

4月12日、13日の両日にわたって、岡山県庁裏の岡山県職員研修所において、県内26の家畜保健衛生所長会議が開催された。当日は本年度畜産事業の概要及び6月1日から地方事務所廃止にともない新たに新設される農林事務所の機構について惣津県畜産課長から説明があった。

次いで本年度の家畜防疫計画等について説明及び協議が行われ2日間の会議を終った。

ジャージー種乳牛 65頭蒜山地区へ

オーストラリア産ジャージー種乳牛65頭が4月20日蒜山地区に到着した。これは30年度導入の第5次分で、第6次分約20頭は4月下旬に蒜山地区に入る予定。このたびの65頭は真庭郡川上村10、二川村23、八束村11、湯原町16、中和村5とそれぞれ配分されたが、これを加えると29年度からの美作集約酪農地域へのジャージー種乳牛導入は536頭にのぼっている。

昭和31年度 中国酪農講習生入所

中国酪農講習所（津山市大田、岡山県酪農試験場内）では昭和31年度の講習生を募集中であったが、去る3月20日選考の結果次表の19名が決定して、4月5日入所式を挙行した。同講習所は本年度からは酪農試験場

岡山畜産便り 1956.05

に併設されたものであり、岡山種畜場の乳牛関係施設が全部移転され、本格的に酪農事業を開始し、新しい乳牛舎、製乳所、人工授精所等も完成するので、1

ヵ年間の修業により、農村の中堅人物が養成されることを大きく期待されている。

第4期講習生名簿

住 所	氏 名	出 身 校
宮崎県北諸県郡中郷村	菌 田 悟	鹿児島 農業科 (末吉高)
井原市野上町	大 平 武 志	精研高
赤磐郡赤坂町	谷 野 勝 美	瀬戸農高
勝田郡奈義町	森 淵 清 実	勝間田高 畜産科
勝田郡勝田町	福 島 敏 美	勝間田高 畜産科
広島県豊田郡福富町	久 保 佳 生	西条農高
苫田郡鏡野町	池 上 興 一	勝間田高 畜産科
津山市上田邑	長 尾 光 章	勝間田高 農業科
津山市近長	今 田 新 作	勝間田高 畜産科
川上郡成羽町	円 橋 良 介	成羽高
小田郡美星町	岡 本 圭 一 郎	成羽高
小田郡美星町	三 好 一 広	成羽高
真庭郡落合町	山 村 安 司	久世高
久米郡中央町	本 田 豊	津山高 大坪和分校
小田郡美星町	岡 本 勲	高松農高 畜産科
上房郡北房町	蜂 谷 英 利	至道高
上房郡賀陽町	小 林 勝 富	竹荘高
英田郡大原町	森 岩 肇	大原高 農業科
真庭郡落合町	坂 本 昇	久世高

家畜取引法修正 参議院で可決

3月の国会で審議中であった既報の家畜取引法案は、3月14日参議院本会議で修正可決され、同日衆議院に附託された。

参議院で修正された点は、家畜市場の開設者の欠格条項と家畜市場における家畜商の規制についてであり、修正理由としては“家畜市場の開設者について、中央卸売市場における卸売人、商品取引所における会員及び証券取引所における会員の例にならって、禁錮以上の刑に処せられた者を欠格事由とし、かつ家畜取引の実際の手掛である家畜商についても同様な規制を加える必要がある”として

一. 家畜市場の登録基準として禁錮以上の刑に処せら

れ、刑余2年を経過しない者には登録を与えないこととする。

二. 家畜商法について禁錮以上の刑に処せられた者、その他家畜商法、家畜伝染病予防法又は家畜取引法の違反者で刑余2年を経過しない者は家畜商免許を与えないこととする。

以上の点について修正された。